

第518回 (5月臨時) 福崎町議会

福崎町長 尾 崎 吉 晴

皆様おはようございます。第518回福崎町議会臨時会を招集しましたところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

新緑が美しい、清々しい季節になってきました。皆様は先に行われました町議会議員選挙に立候補され、見事に当選を果たされました。まずこのことに心からお祝いを申し上げます。

皆様は選挙戦において様々な公約を訴えられ、地域を回る中で住民の声を聞かれたことと存じます。その思いや声を町政に反映できるように頑張っていたいただきたいと思います。

申すまでもなく、議会は、首長との二元代表制の一翼を担う重要な議事機関であります。町は執行機関であります。議会で承認された予算や条例の範疇で行政を執行することになります。また、議会は首長を監視する役割も担っておられます。議会と首長は車の両輪とも言われますが、お互いに緊張感をもって、住民のための町政運営にあたっていきたいと思っています。

今回の選挙では6人の新人の皆さんが当選をされ、その内4名の方が女性であります。日本は女性の社会進出が遅れている国だとよく言われてきました。その中でも政治は遅れている分野ではなかったかと思えます。そういった意味においても女性の視点をまちづくりに生かしていただきたいと期待しています。

私は、町長として2期目のちょうど中間点を過ぎたところですが、私の町政に取り組む姿勢は、初当選の時と変わっていません。公平・公正な行政を進めていくということです。このことが、住民の皆様から信頼される明るく住みよいまちづくりに繋がると信じています。

福崎町は、来年、町制施行70年を迎えますが、教育・文化・福祉を大切にしてきました。この原点を忘れないように町政を進めていきたいと考えています。

(裏面につづく)

議員の皆様と力を合わせて、福崎町の発展と町民の幸せのために全力で取り組みますのでよろしく願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

ご当選、誠におめでとうございます。